

第2回 今治市都市再生協議会

令和8年2月24日(火) 10：00～

1. 第1回会合の振り返り
2. 公共空間再編専門部会での検討
 - 広小路再編整備案の整理、関係者協議の実施
 - 社会実験の企画検討案の整理
 - 関係者協議の実施
3. 意見交換①
4. 関連する取組の検討状況
 - シビックゾーンの公共施設整備
 - 中心市街地全体での都市基盤整備
5. 都市再生整備計画（案）について
6. 「中心市街地まちづくり市民会議2025」の振り返り
7. 意見交換②
8. 今後のスケジュール

1. 第1回会合の振り返り

事業推進に向けたR7年度の検討体制

4

- 2つの会議体の設置（8月19日に実施した第1回都市再生協議会にて承認済）
 - 「**今治市都市再生協議会**」：都市再生整備計画の作成と検証
 - 「**専門部会**」：個別事業及び社会実験の検討

本日の会議体

今治市都市再生協議会

- 都市再生整備計画の作成及び変更
- 都市再生整備計画関連事業の実施及び効果検証（R8以降）
- 中心市街地まちづくり（公共空間デザイン）の検討【総合的審議】

《構成》学識経験者、関係団体（経済・商店街等）、まちづくり関係者、関係行政機関、市

都市再生整備計画の
作成と検証

報告



付託



専門部会（協議会の下部機関）

- 中心市街地の公共空間再編整備の事業化検討
- 上記に関連する社会実験の検討・実施
- 中心市街地の公共空間デザインに関する検討【実質協議】

《構成》公共交通事業者、学識経験者、関係団体（商店街）、まちづくり関係者、関係行政機関、市

個別事業及び社会実験の検討

第 1 回都市再生協議会の開催概要

日時	令和7年8月19日(火) 10:00~12:00			
場所	今治市みなと交流センター「はーばりー」1階みなとホール			
参加者（委員）	土居忠博	今治市 副市長	会長	(敬称略)
	中原一也	愛媛県東予地方局今治支局 支局長		
	町田一益	愛媛県東予地方局今治土木事務所 所長		
	泉浩徳	今治明德短期大学 学長		
	羽鳥剛史	愛媛大学 教授	副会長	
	瀬野洋一郎 (代理)瀬野和博	今治海事都市交流委員会 監事		
	野間有造	今治市社会福祉協議会 理事	監事	
	檜垣幸人	今治商工会議所 会頭		
	友田康貴	今治商店街協同組合 理事長	監事	
	越智逸宏	今治地方観光協会 会長		
	矢野将文	株式会社今治. 夢スポーツ 代表取締役		
会次第	1 開会		6 報告等	
	2 市長挨拶		(1) 今治市中心市街地グランドデザインの概要と今年度の取組について	
	3 委員紹介		7 今後のスケジュールについて	
	4 規約等について		8 閉会	
	5 議事			
	(1) 役員の選出について			
	(2) 令和7年度事業計画及び収支予算(案)			
	(3) 専門部会の設置について			

第1回都市再生協議会における主な意見（1）

6

項目	意見要旨
中心市街地 グランドデザインについて	・ グランドデザインは市民とともに3～4 年かけ策定。 ・ 市長と早期実現の必要性を共有。 ・ 計画全体は長期だが、社会実験や工事を通じて、今年・来年から市民参画を進めるべき。 ・ 協議会で市民を巻き込みながら事業を進める方策を議論したい。 ・ 過去の計画が実現に至らなかった経緯を指摘。 ・ ターゲット設定が重要。
ネウボラ拠点 施設について	・ ネウボラ拠点施設は18 歳までを対象とする多機能複合施設。 ・ 子育て支援、地域交流、検診・保健指導などを包含。 ・ 予算制約やMICE との整合が課題。市民ファーストで柔軟に検討継続。
複合庁舎整備 について	・ 市役所・県支局庁舎とも耐震性の課題あり。 ・ 今治市と連携した複合庁舎整備の可能性を引き続き検討。
MICE 機能の 導入について	・ MICE 機能は中心市街地に必要。 周辺の都市機能や駐車場、アクセス性を考慮すると旧日吉小学校跡地を主たる候補地とし、分散型施設が望ましい。 ・ バリシップ拡大には十分な会場面積が必要。海外事例を参考にすべき。 ・ バリシップの拡大、外国人技能者との共生、英語教育の強化を要望。

第1回都市再生協議会における主な意見（2）

7

項目	意見要旨
広小路の再整備について	・ 広小路整備の具体像を確認したい。落ち葉等の問題を指摘。 ・ 広小路再整備の方向性は、歩行者中心の空間形成。 ・ 回遊性向上のため歴史資源や自転車ネットワークとの連携が必要。 ・ 交通量は2車線に対応可能と思われる。 ・ 今回の計画は、交通の変化や渋滞等、沿線住民の方々への負担が生じないような整備方針となるよう、社会実験を重ね、議論を深めることが大事。 ・ 丹下建築の軸線や市民広場の思想を踏まえており、広小路がグリーンアベニューとなることを高く評価。広小路整備による居住や経済活動への副次的な波及を期待。 ・ パークアンドライドや電気自動車の周回など、多様な移動手段の整備を提案。 ・ 点在する都市機能を線で結ぶことが重要であり、広小路整備を最優先で進めるべき。
港湾・観光振興	・ 港に誘客の「目玉」が必要。市港湾駐車場が有料は課題。 ・ 観光振興と市民生活の調和が重要。 ・ 金星川（旧外堀）の歴史的要素を整備に活用すべき。 ・ 丹下建築の保存と活用（例として建築系大学の誘致）を提案。
商店街再生	・ 商店街衰退の主因は代替わりの問題（後継者不在）と新規参入困難。 ・ ハード整備だけでなく、運営する人材・ソフトが不可欠。 ・ 行政の柔軟な支援（コンテナハウス活用、学生居住、コンテナショップなど）を提案。

第1回都市再生協議会における主な意見（3）

8

項目	意見要旨
大学との連携・人材育成	• 空き家活用や大学連携による新展開に期待。
その他	• 重要なのは施設整備よりも、市民とともに考えるためのプラットフォームづくり。 • 中心市街地は他エリアと連携して集客を図る必要あり。 • 空き地・空き物件（グランドデザインの白地部分）の流動性確保は行政課題。 • 将来的に中心市街地に居住空間を整備することも重要。



今後の中心市街地まちづくりの進め方や今年度の検討内容について、
①公共事業に関する検討、②公民連携によるエリアマネジメントに関する検討
のそれぞれから情報共有・意見交換を行う

2. 公共空間再編専門部会での検討

- 広小路再編整備案の整理、関係者協議の実施
- 社会実験の企画検討案の整理
- 関係者協議の実施

専門部会の位置づけ

10

- 2つの会議体の設置（8月19日に実施した第1回都市再生協議会にて承認済）
「**今治市都市再生協議会**」：都市再生整備計画の作成と検証
「**専門部会**」：個別事業及び社会実験の検討

今治市都市再生協議会

- 都市再生整備計画の作成及び変更
 - 都市再生整備計画関連事業の実施及び効果検証（R8以降）
 - 中心市街地まちづくり（公共空間デザイン）の検討【総合的審議】
- 《構成》学識経験者、関係団体（経済・商店街等）、まちづくり関係者、関係行政機関、市

都市再生整備計画の
作成と検証

報告 ↑ ↓ 付託

専門部会（協議会の下部機関）

- 中心市街地の公共空間再編整備の事業化検討
 - 上記に関連する社会実験の検討・実施
 - 中心市街地の公共空間デザインに関する検討【実質協議】
- 《構成》公共交通事業者、学識経験者、関係団体（商店街）、まちづくり関係者、関係行政機関、市

個別事業及び社会実験の検討

公共空間再編専門部会を設置

公共空間再編専門部会（第1～3回）の開催概要

11

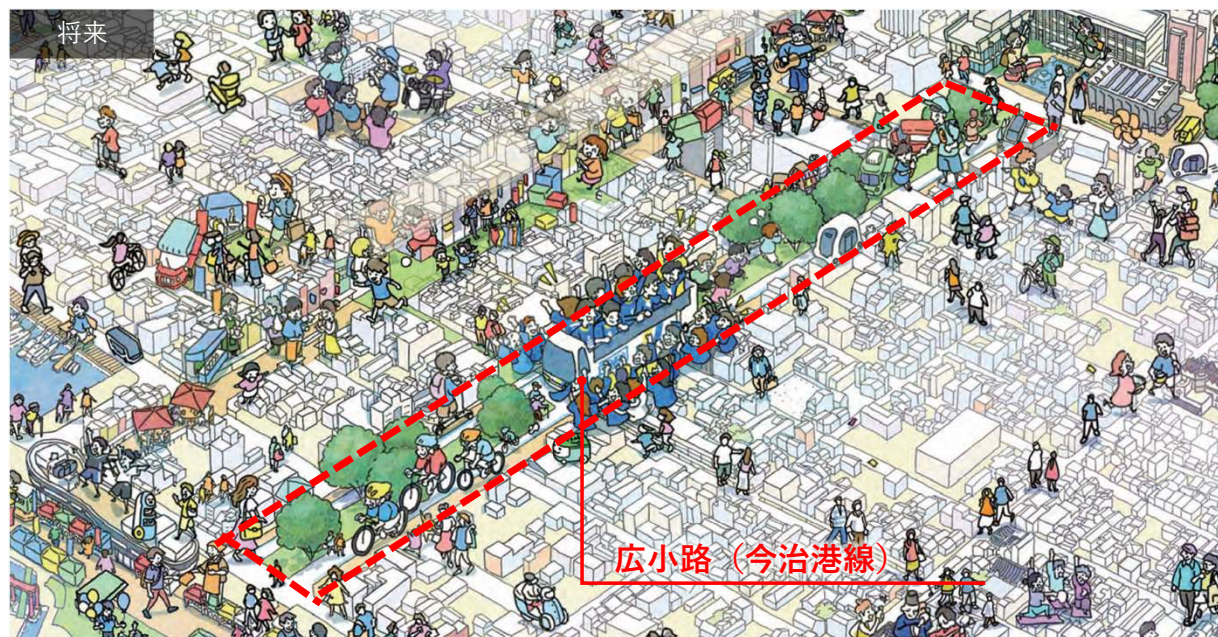
日時	令和7年10月23日(木) 15:00~17:00		令和7年12月19日(金) 15:00~17:00	令和8年2月19日(木) 15:00~17:00
場所	今治市みなと交流センター「はーばりー」1階みなとホール			
委員	羽鳥 剛史 原 竜也 大成 経凡 友田 康貴 越智 人史 大木 鉄兵 豊島 吾一 坂本 大蔵 矢野 克哉 飛田 隆之 窪 仁志 川田 卓哉	愛媛大学 教授 今治商工会議所 今治明德短期大学 地域連携センター長 今治商店街協同組合 (社福)来島会 合同会社G T O 今治ホホホ座 しまなみジャパン 檜垣産業株式会社 株式会社今治 夢スポーツ 四国旅客鉄道(株) 瀬戸内運輸(株)	大澤 弘幸 富田 義勝 頼木 清隆 波頭 健 木村 光男 村上 彰 山田 正美 桧垣 充宏 塩見 秀徳 田鍋 文浩 森 聖二 (敬称略)	愛媛県東予地方局 今治土木事務所 道路課 今治市 総合政策部 今治市 建設部 今治市 総合政策部企画政策局 今治市 総務部総務政策局 今治市 地域振興部地域政策局 今治市 こども未来部こども未来政策局 今治市 産業部産業政策局 今治市 建設部建設政策局 今治市 建設部都市政策局 今治市 市民が真ん中課
主な議題	(1) 第1回都市再生協議会(8/19)開催結果の報告 (2) これまでの経緯と「中心市街地グランドデザイン」の概要 (3) 関連する検討・取組の共有 (4) 【議題1】都市再生整備計画の検討について (5) 【議題2】今年度の検討内容について	(1) 前回(10/23)の部会の振り返り (2) 広小路(今治港線)の検討について (3) 社会実験の企画検討案の更新について (4) 中心市街地での検討・取組の共有(続報) (5) 都市再生整備計画の検討について	(1) 前回(12/19)の部会の振り返り (2) 広小路(今治港線)の検討について (3) 都市再生整備計画(案)について (4) 「中心市街地まちづくり市民会議2025」の振り返り	

広小路での再整備案の検討まとめ（１）

12

■ まちづくりにおける広小路（今治港線）の位置づけ

- ・ 今治市では、2022年度より3年にわたり地域、関係者と協議を重ね、中心市街地の目指す将来像を示した「今治市中心市街地グランドデザイン（2025）」を策定。
- ・ このうち車両交通量の減少がみられる広小路（今治港線）では、現市庁舎と港を結ぶシンボル性を活かし、側道の廃止・車道付け替えにより中央部を歩行者のための広場として開放し、既存のクスノキを活かした緑豊かな環境への再編を提案。



今治市中心市街地グランドデザイン(2025)より抜粋

広小路での再整備案の検討まとめ（2）

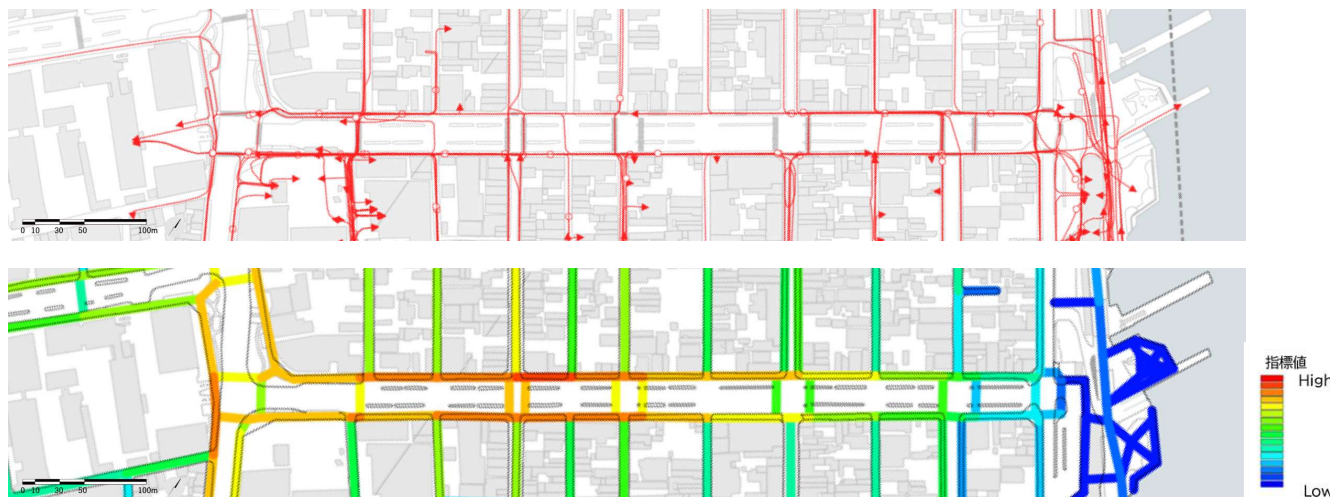
13

交通に関する調査分析

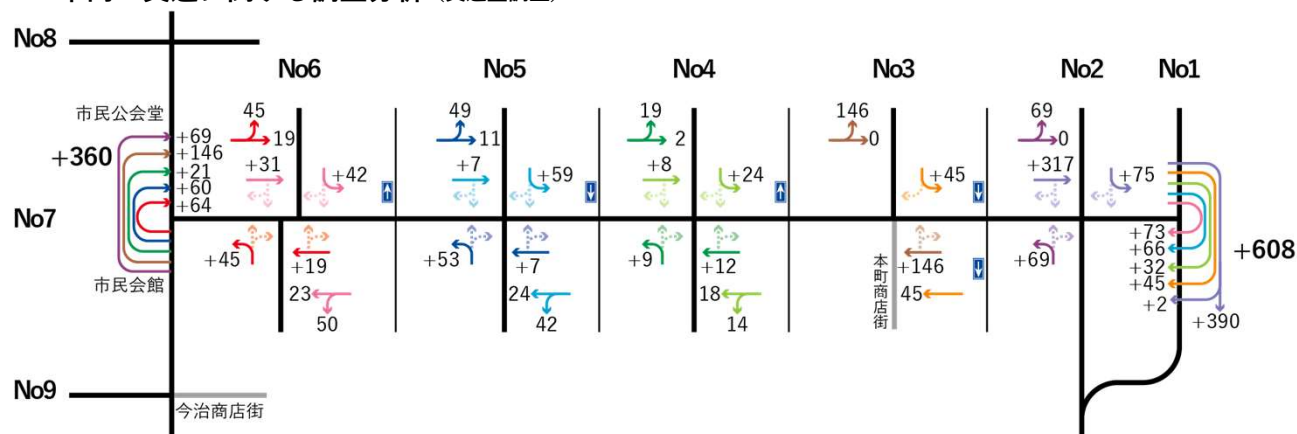
- 整備にあたり、令和6年には歩行者の交通、令和7年には車両の交通について調査分析を実施し、将来像の実現に向けた空間整備の在り方について検討。
- 歩行者の交通に関する調査分析（ネットワーク空間特性・アクティビティ分析）からは、南北の横道を通り抜ける歩行がみられる一方、交差点で動線が迂回し、つながりが弱いという空間特性の課題が読み取れる。
- 車両の交通に関する調査分析からは、現在の交通量調査の結果を踏まえ、将来の道路空間再編が交通に与える影響を検証し再整備案・社会実験の実施案を検討。

次年度の社会実験にて、整備案における交通に対する影響・課題等を具体的に調査

歩行者の交通に関する調査分析（ネットワーク空間特性・アクティビティ分析）



車両の交通に関する調査分析（交通量調査）



広小路での再整備案の検討まとめ（３）

14

■ 公共空間デザインの検討（案）

・ 次世代に継承するまちのシンボル

丹下の市民広場構想や市民によるクスノキの寄付など歴史的経緯を尊重し、多様な市民活動や沿道・周辺の活性化につながる空間を形成する

・ ウォーカブルシティへの貢献

市庁舎と港をつなぎ、商店街など南北の回遊性を高め、まちなかで多様な活動が生まれるウォーカブルな中心市街地の形成に貢献する

・ 快適・持続可能な都市基盤

貴重な都市における緑の保全をしながら人々が快適に利用でき、内水氾濫による被害低減など持続可能な都市環境の基盤を形成する

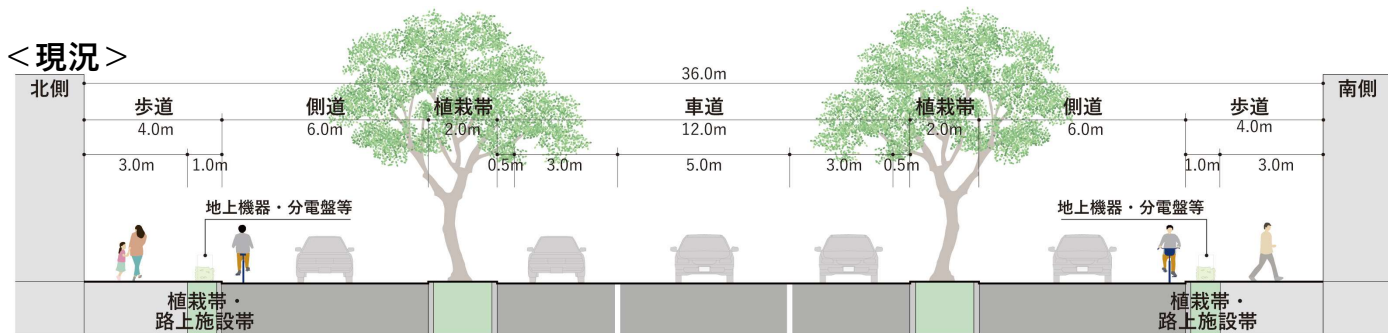
・ 継続的な利用に向けた官民連携の体制

市民活動の場として利用しやすい空間整備や、継続的な利活用につながる体制の構築を図る

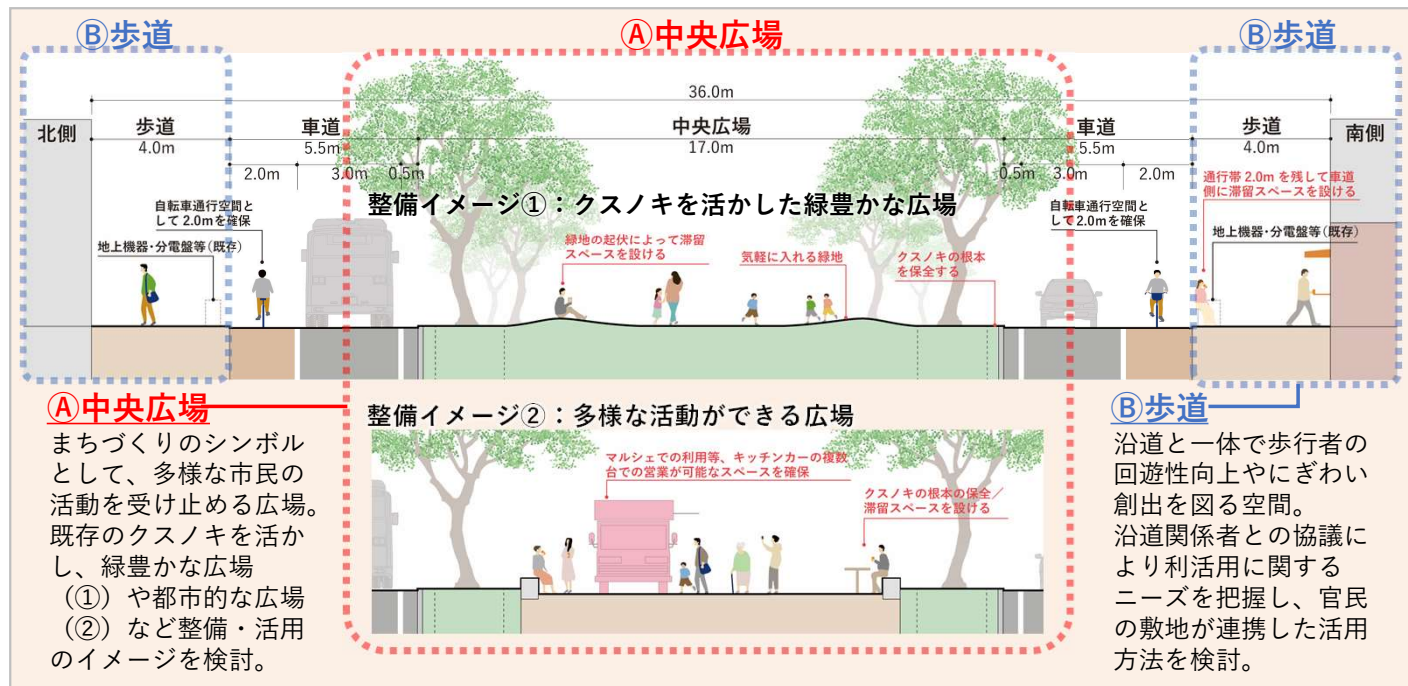
・ 多様なモビリティの共存

多様なモビリティが道路を安全・快適に利用でき、広場を訪れ周辺へ回遊を広げる拠点となる交通機能を確保する

<現況>



<提案>



広小路での再整備案の検討まとめ（４）

15

■ デザインノートの更新（案）

交通量調査の結果を踏まえた検証により、両端の交差点の負荷をかけないため、転回スペースを設けることを検討



沿道にあるバス停との関係から交通の結節点としての設えを検討

交通量調査の結果を踏まえた検証により、本町商店街に向かう右折の流れを残すことを検討

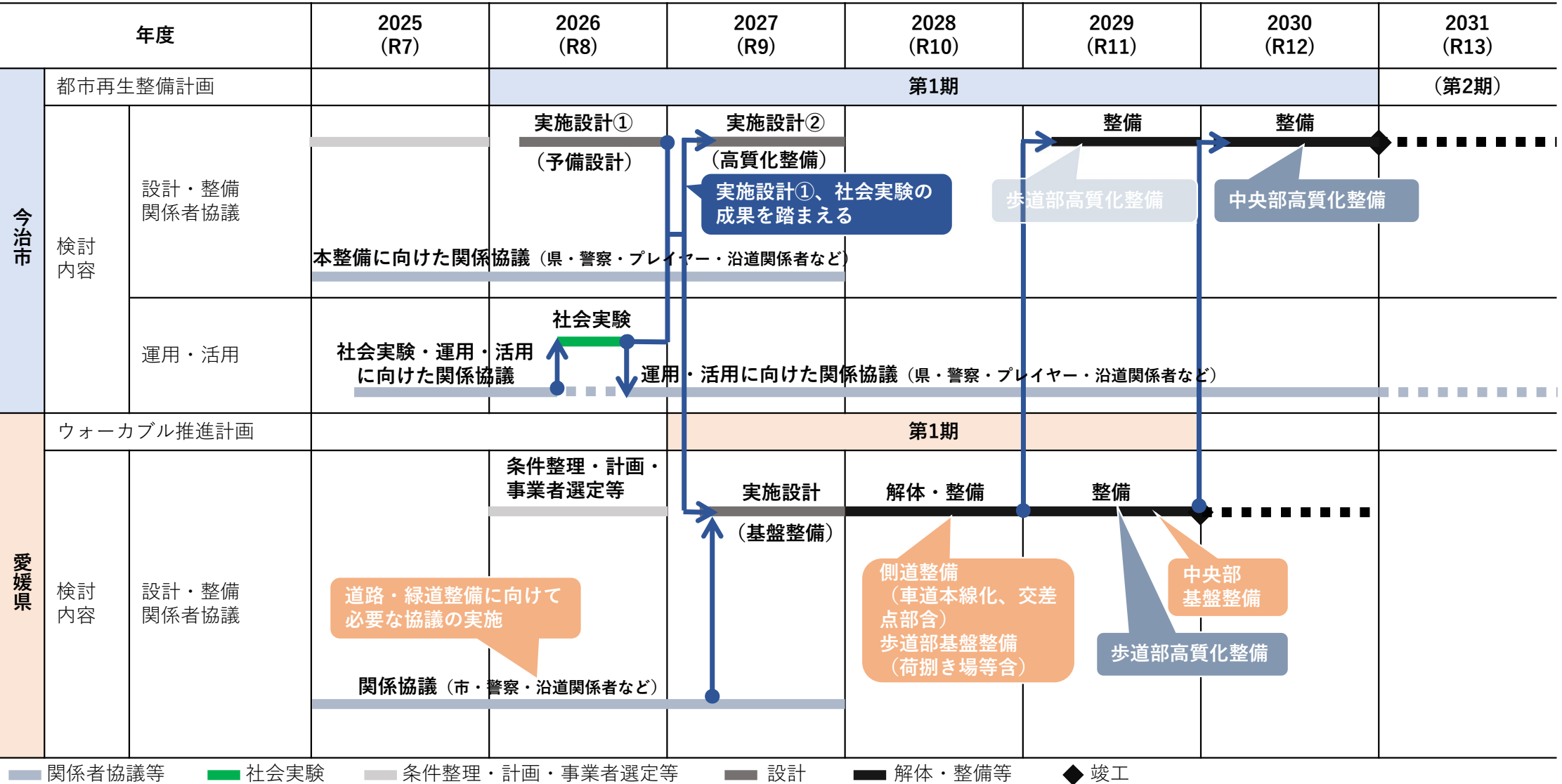


沿道にあるバス停、VISAGEとの関係から設えを検討

- ・ 歩行者をはじめ多様なモビリティが安全・快適に通行できるよう道路の整備形態を検討し、社会実験を通じた検証を行う
- ・ 沿道関係者等との協議も踏まえながら、官民連携で利用しやすく、沿道の価値を高める歩道・中央広場の整備・活用を検討する
- ・ 公共交通や自転車、将来モビリティで訪れやすく、周辺へと回遊を広げていく拠点の形成に向けて、待合・乗換空間を形成する

整備に至るスケジュール（案）

今後の関係者との協議・調整に向けた素案



■社会実験の背景・目的

- 広小路の再編に向けて、**実際の現場での効果検証**や**市民・関係者等との合意形成等**を図る

■社会実験の目的

- ①車両の通行規制等による交通への影響を検証する
- ②中央緑道化を見据えた広小路の新しい活用方法を体験する

➡ 社会実験の実施に向けた取組や体制づくりを通じて、**市民・関係者等による「まちづくりの機運醸成」**を図ることも重要な役割の一つ

■社会実験実施に向けた検討事項

- ①社会実験の概要
- ②交通規制・安全管理
- ③社会実験の内容
- ④実施に向けたロードマップ

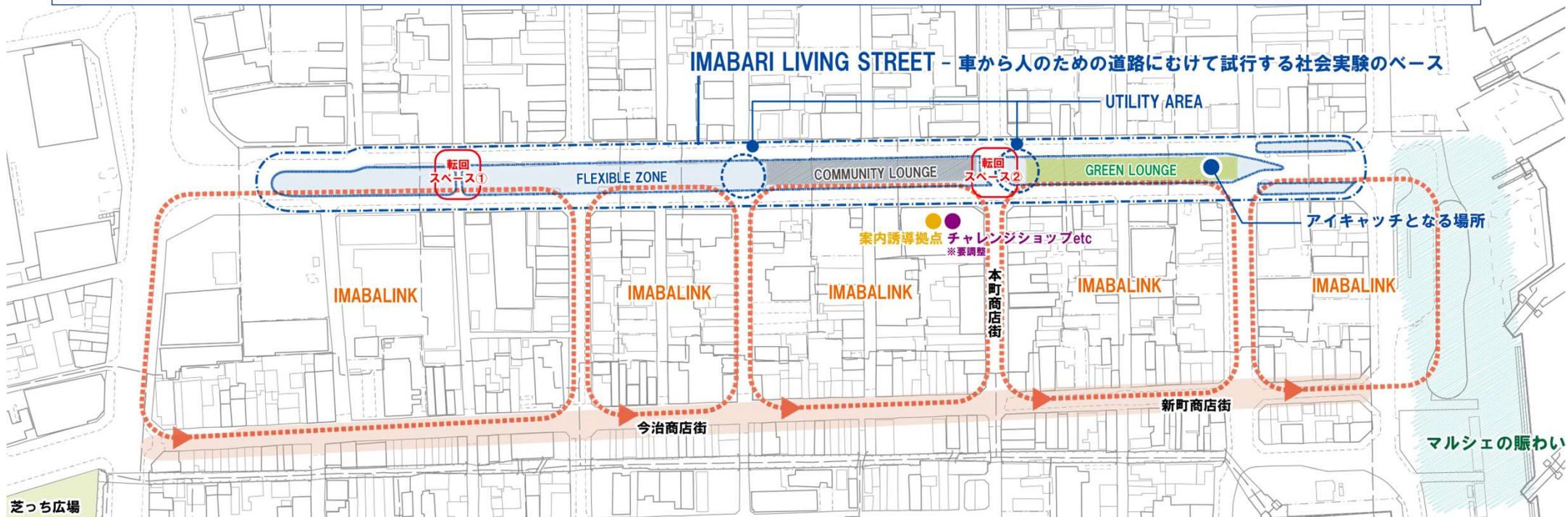
広小路での社会実験実施に向けた検討

18

■社会実験の概要

- 【実験対象】 広小路周辺（商店街や港との連携した取組を検討することで回遊性の向上を図る）
- 【実験期間（仮）】 **11月9日（月）～22日（日）**（うち、1日は「せとうちみなとマルシェ」実施日）
期間中は24時間の実施を想定

実験のテーマ（案）： 広小路・商店街・みなとが一体となって実施する社会実験『（仮称）IMABALINK』



※現状部会に提示している内容は想定たたき台（警察を含めた関係者協議や意見交換を促すために作成しているもの）

広小路での社会実験実施に向けた検討

交通規制・安全管理

- ・ 広小路本線（一部副道）の交通規制（植栽帯が無い区間に保安設備（赤線）を設置して車両等の侵入を規制）
- ・ 広小路の副道及び広小路に接続する道路の進行方向の規制（道路上に青の矢印で記載。看板等により十分に周知を行う）
- ・ 連続性を高めるため広小路の横断車両を規制し、その代替となる2か所の「転回スペース」の必要性を社会実験で検証
- ・ 一部交差点の信号制御を変更するとともに、案内・誘導看板等の設置や路面標示の変更を行う。

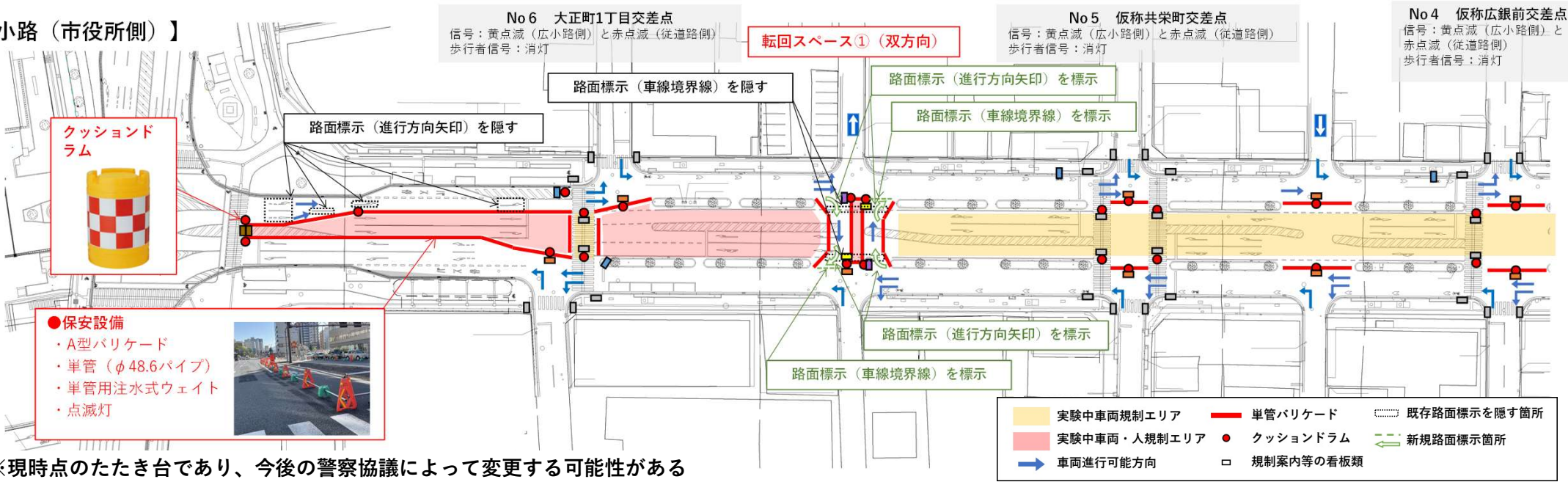
○規制案内等の看板類の内容

※必要に応じて広小路周辺（中心市街地内）にも配置

種類	凡例	内容	設置箇所
A		広小路（今治港線）社会実験実施中	広小路西側・東側※
B		一旦停止して安全確認 左折のみ	車両通行規制部
C		社会実験の実施に伴い歩行者信号を停止中 安全を確認して横断してください	広小路内の横断歩道
D		徐行して安全確認 右折禁止	広小路の副道
E		一旦停止して安全確認 合流注意	転回スペース①
F		Uターン路	転回スペース①
G		対向直進車が優先です 対向直進に注意して右折してください	転回スペース②

交通規制のイメージ（市役所側）

【広小路（市役所側）】



広小路での社会実験実施に向けた検討

交通規制・安全管理

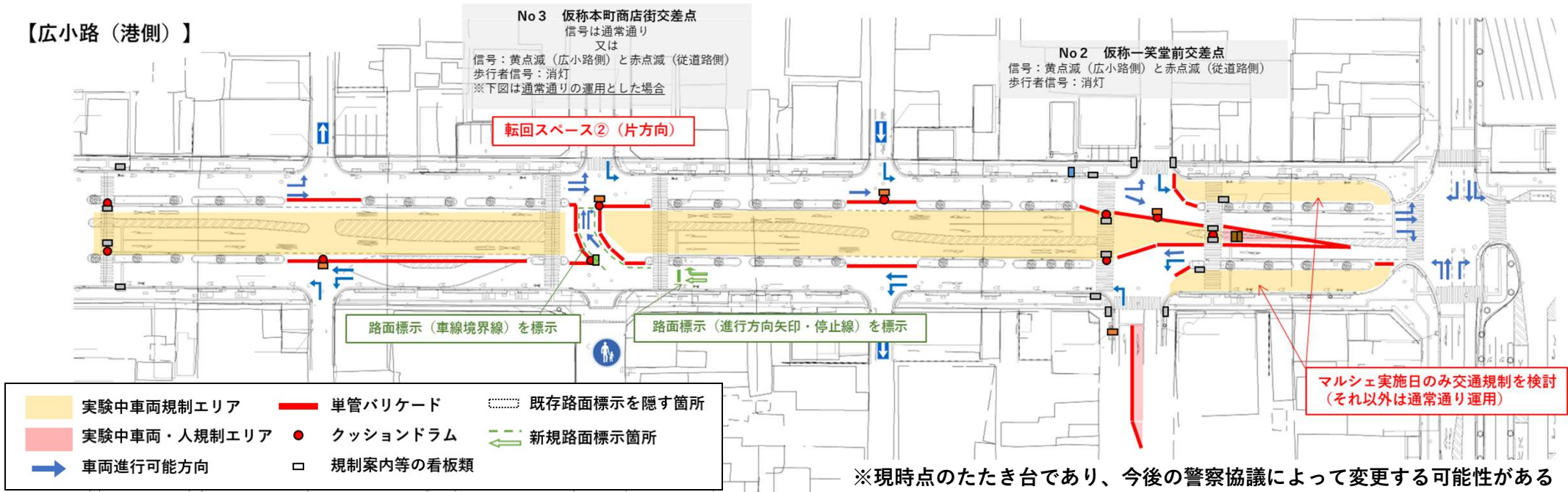
- ・ 広小路本線（一部副道）の交通規制（植栽帯が無い区間に保安設備（赤線）を設置して車両等の侵入を規制）
- ・ 広小路の副道及び広小路に接続する道路の進行方向の規制（道路上に青の矢印で記載。看板等により十分に周知を行う）
- ・ 連続性を高めるため広小路の横断車両を規制し、その代替となる2か所の「転回スペース」の必要性を社会実験で検証
- ・ 一部交差点の信号制御を変更するとともに、案内・誘導看板等の設置や路面標示の変更を行う。

○規制案内等の看板類の内容

※必要に応じて広小路周辺（中心市街地内）にも配置

種類	凡例	内容	設置箇所
A		広小路（今治港線）社会実験実施中	広小路西側・東側※
B		一旦停止して安全確認 左折のみ	車両通行規制部
C		社会実験の実施に伴い歩行者信号を停止中 安全を確認して横断してください	広小路内の横断歩道
D		徐行して安全確認 右折禁止	広小路の副道
E		一旦停止して安全確認 合流注意	転回スペース①
F		Uターン路	転回スペース①
G		対向直進車が優先です 対向直進に注意して右折してください	転回スペース②

交通規制のイメージ（港側）



広小路での社会実験実施に向けた検討

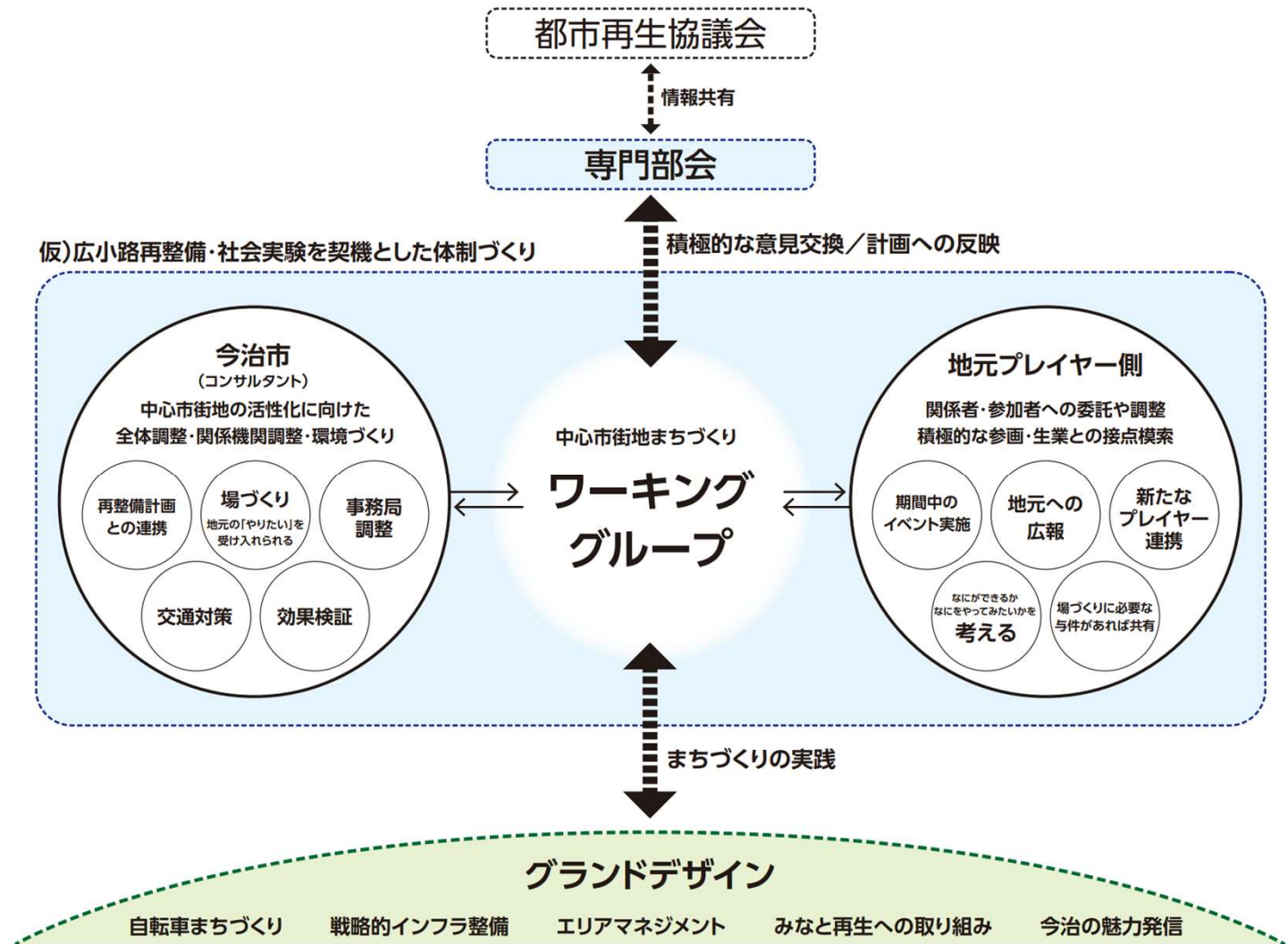
21

■ ワーキンググループについて

- 現検討体制の下に官民協働による「ワーキンググループ」を設置し、社会実験の実施に向けた検討を行う⇒前回部会で承認済
- 将来的には、グランドデザインに基づくまちづくりの実践を担う、恒常的なエリマネ組織としての体制化を目指す
- 今年度はその立ち上げを行うものとし、まずは**“コアメンバー”**（＝これまで話を聞いてきた方の中から参画意向のある方を呼びかける）によって小さく議論する（＝**“コア会議”**）ところから始め、社会実験の検証項目や考え方等の方針を検討する

→社会実験の実施内容について
まずはコア会議で検討を進める

■ 社会実験の検討・運営体制のイメージ



■ 社会実験の内容

- ・ コア会議では、社会実験における **広小路の利活用の方向性** 及び **検証項目を設定**するとともに、その検証を行うための **具体的な社会実験プログラム案**を、行政と住民・プレイヤー（コアメンバー）で検討する。
- ・ コア会議について、まずは準備会（web参加可）を実施したのちに、2～3月に対面によるキックオフ回を行う。（その後は6月以降ワーキンググループとして運用開始を目指して適宜開催予定）

■ コア会議の実施イメージ

○準備会（2/12（木）web開催）

- 「コア会議」の理解について
足並みをそろえる
- 社会実験を「自分ごと」として
検討していただく

【想定する実施内容】

- ① コア会議の意図・目的等の説明
 - ② 全体的なスケジュール案
 - ③ キックオフに向けての準備
 - ・ 将来ビジョンの実現に向けて
「大切にしたいこと」
 - ・ 広小路や中心市街地で将来やって
みたいこと
- 等についてご自身の活動の観点から
検討していただく

○キックオフ会（3/11（水）対面開催）

- コアメンバーが一堂に会し、
関係性を築く場とすること
- 社会実験の方向性についての
意見交換・整理

【想定する実施内容】

- ① 前回の振り返り
- ② 事前検討内容の共有・意見交換
⇒ 大判図面を囲みながら意見交換
- ③ 今後の進め方について意見交換
 - ・ 検討を広げていく際の
配慮点・懸念点の整理
 - ・ 次回以降の進め方の確認

○コア会議

- 会議の意見を実行可能な
場にする
 - ・ 検証項目
 - ・ 具体的なプログラム案
などの検討

※進め方はキックオフ会
の様子を見ながら要調整

※3～4月で適宜開催予定

○公募・WG（5月以降）

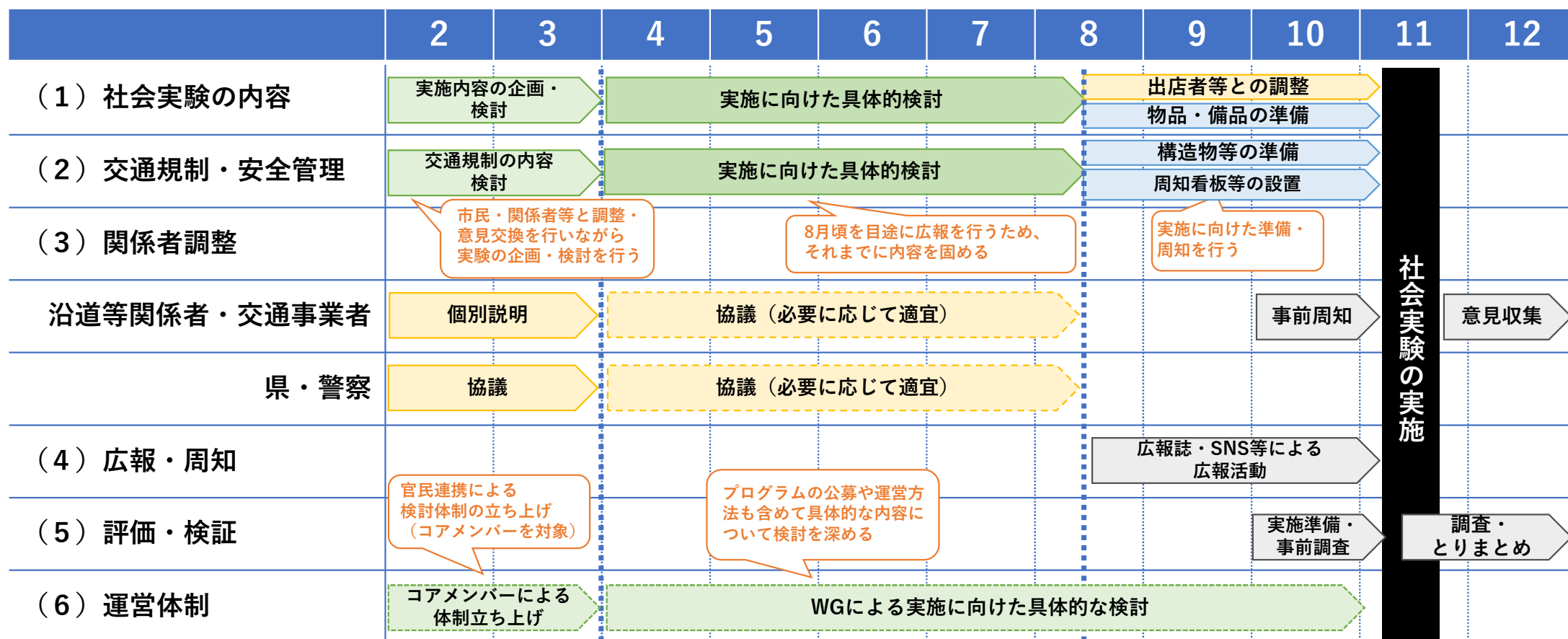
- ① ワーキンググループの
メンバー・実施内容の公
募（5月）
- ② ワーキンググループの
開始（6月～）
※WGではコアメンバー
を中心にしたチーム編成
で検討を行うイメージ
 - ・ チームごとに具体的に
内容検討
 - ・ 準備・各種調整
 - ・ 実施期間中の運営など

広小路での社会実験実施に向けた検討

23

■ 社会実験実施に向けたロードマップ

※11月実施を想定した場合に逆算して一旦作成したイメージであり、この工程で進めるというものではない（今後変更する可能性がある）



関係者協議の実施（バス事業者・沿道事業者）

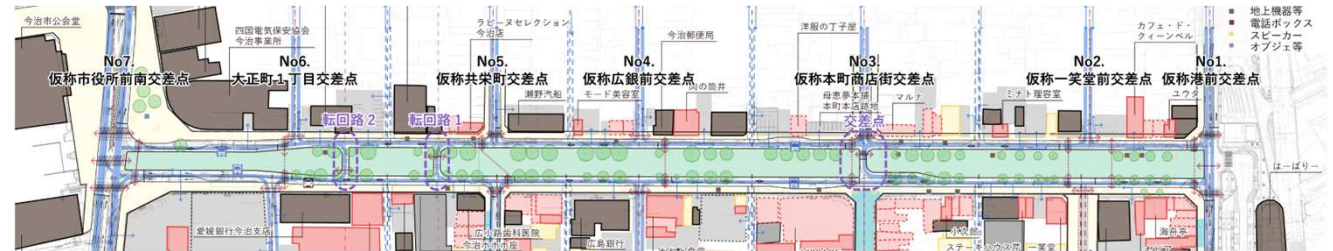
24

※Google Mapストリートビューより用途を判定

■ 個別ヒアリングの実施

- バス事業者、沿道事業者と現在の空間整備・社会実験の検討内容を共有しながら、利用に関わるニーズや今後の検討に向けた課題整理を図る

2月5～6日より協議を開始
(今後も協議を継続する予定)



バス事業者

- ①瀬戸内運輸、瀬戸内海交通
- ②瀬戸内しまなみリーディング

沿道事業者

- ③瀬野汽船
- ④肉の筒井
- ⑤アポニー
- ⑥ラビース
- ⑦三好工芸社
- ⑧ブティック・マイ
- ⑨かねと食堂
- ⑩メンズショップ丁子屋

バス事業者



沿道事業者



バス事業者からの意見

25

項目	意見要旨
プロジェクトの考え方	- 道路再編を通じて中心市街地に人を呼び戻そう、人のための空間をつくろうという考え方自体は理解できる。 - 中央を緑地・広場にするのは個人的には賛成。
幅員構成 (主に車道)	- バス事業者からすると車線幅員3.0mは本当に狭いので、通れるかどうか不安。バスは車体幅2.5mにバックミラーもつくため、車線幅員3.0mではバスが安全に通行できない。 - 荷捌き車や緊急車両通行時の逃げ場がないので、バスの定時性にも影響を与える恐れがある。 - バス事業者としては、円滑かつ安全な交通を担保してほしい。 - 現在は歩行者、自転車、その次にバスという優先順位になっているように見える。
自転車通行帯	自転車通行帯として2.0mをとっているが、本当に必要なのか。
クスノキ	現在の広小路では枝の伸びたクスノキを避けるために、センターラインを踏んで走行する場合もある。
安全対策	- バス事業者としては、円滑かつ安全な交通を担保してほしい。 - バス通行時の安全を確保するため、中央広場から車道に飛び出さないような対策を検討いただきたい。
通過交通	単に看板を立てるだけでは通過交通は減らない。何らかのルールがないと、交通事情は変わらないと思う。
社会実験	- 来年度の社会実験時にも、現在の整備案に合わせて車線幅員3.0mで実施すべきだと思う。 - まずは社会実験で試してみて、それで問題がなければよいと思う。

社会実験にて整備案における交通に対する影響・課題等を具体的に調査するとともに、多様なモビリティが共存する道路の整備形態を継続検討

沿道事業者からの意見（１）

26

項目	意見要旨
プロジェクトの考え方	• 人のための広場に変えるのは賛成。現在は抜け道になっているが、車が走行しづらくなれば別の道を探すと思う。 • 整備をきっかけに広小路をアピールしてくれるのはよいと思う。 • 道路空間再編をする必要はないと感じる。側道を車が通るようになると、交通が危険。店のお客さんにも話をしてみたが、全員反対だった。市内にも公園が増え始めている中で、わざわざ公園にする必要があるのか疑問。 • 新たに広場として使っていこうという考え方はいいと思うが、周りに楽しめる場所がないと回遊は生まれない。 • 車で通りにくい、店に入りにくいとなった場合、営業に影響が出ないかが心配。不便さを感じさせてまでウォークアブルにする必要があるのか。中央を広場にしても、単純に不便になるだけで、沿道は商売が難しくなる。知り合い20人ほどに話をしてみたが、全員反対していた。
幅員構成（主に車道）	• 港に向かう交通量が増えた場合に車がつまってしまうのではないかと心配。 • 中央広場と車道での安全対策、バスやトラックなどの大型車の通行、工事期間中の通行も検討いただきたい。
自転車通行帯	• 自転車通行空間を中央広場内に入れて、車道内に2車線分のスペースをとれないか。 →幅員6mの中では難しい。限られた幅員の中で、必要なモビリティが共存できる在り方を今後検討していく。 • 自転車専用通行帯は不要だと思う。自転車の人はあまりお金を使わないとも感じており、そのためにわざわざレーンを設けてもまちの活性化にはつながらないと思う。
荷捌き等	• 現在は建物の裏手に車をつけているが、郵便や宅配業など簡単なものであれば沿道につけて荷下ろししている。 • Uターンができる場所に止められれば問題ない。そのくらいの不便さでまちがよくなるならやっただいいと思う。 • 現在の側道部分での荷下ろしはできた方が望ましい。宅急便など短い時間であれば止めさせてほしい。 • 1~2分ほどの短い時間であれば運送業者は止められるようにしてほしい。路上駐車場が廃止後、キハラパーキングに停めてもらっているが、足の悪い人だと店まで歩いてこれない場合もあるので困っている。

沿道事業者からの意見（２）

27

項目	意見要旨
クスノキ	・ クスノキを伐採してしまうと、通りの良さがなくなってしまう。ただ、クスノキの根が建物側にも伸びてきていて、下水が詰まったという話も聞いた。残すか伐採するかについては、なんとも言えない。 ・ クスノキの根が広がり、排水管を詰まらせていた。 ・ 落ち葉の清掃について、ゴミ袋でいうと1袋弱、風の強い日には2袋分の落ち葉を清掃している。 ・ 清掃について、沿道の人たちはめんどくさがってはいるが、まあそれも悪くないかなという感じだと思う。 ・ クスノキを植え替えることはできないのか。 →移植は技術的には可能だが、多額の費用が掛かることや木が耐えられずに枯れてしまう可能性がある。
安全対策	・ 側道を本線化した場合に歩行者の安全性が心配。 ・ 車線合流時に植栽帯の植え込みが見づらく、危ないと感じる時がある。
通過交通	・ 一方通行にした場合でも通り抜けする人は出てきてしまうと感じる。現状はスピードも速いので心配。速度制限は設けた方がいいと思うし、車両にはきちんとスピードを守ってもらいたい。
駐車場	・ 駐車場も設けたほうがよいのではないか。まちなかを歩いて過ごすように抜本的に変えていこうというのは理解できるが、ステップとして地域の生の声にも応えてほしい。 ・ 路上駐車が不可となって以降、お店に人が来れなくなったように思う。
マルシェ	・ 冬は海風で寒さが厳しく難しさを感じている。出店している身としては、冬場は広小路に縦に並べられるとよい。 ・ 冬場は寒いので、広小路よりも屋根のある商店街を使った方がよいのではと思う。
おんまく	・ ベンチなどの座れる場所があるとよい。イベント時の仮設ベンチを保管する場合、必要があればうちでやるのは問題ない。

3. 意見交換①

4. 関連する取組の検討状況

- シビックゾーンでの公共施設整備
- 中心市街地全体での都市基盤整備

シビックゾーンでの公共施設整備

30

個別計画の進捗状況

- (1) ネウボラ拠点施設
 - 事業者公募を開始
 - R12年度供用開始（予定）
- (2) 県・市複合庁舎
 - 基本協定を締結（R7.10）
 - 基本計画の策定
- (3) MICE機能
 - 基礎調査が終了（R7.11）
 - 基本計画の策定
- (4) 新設道路
 - 関係者と協議中
 - 測量設計等

【凡例】

●現状・経過 ○今後の予定

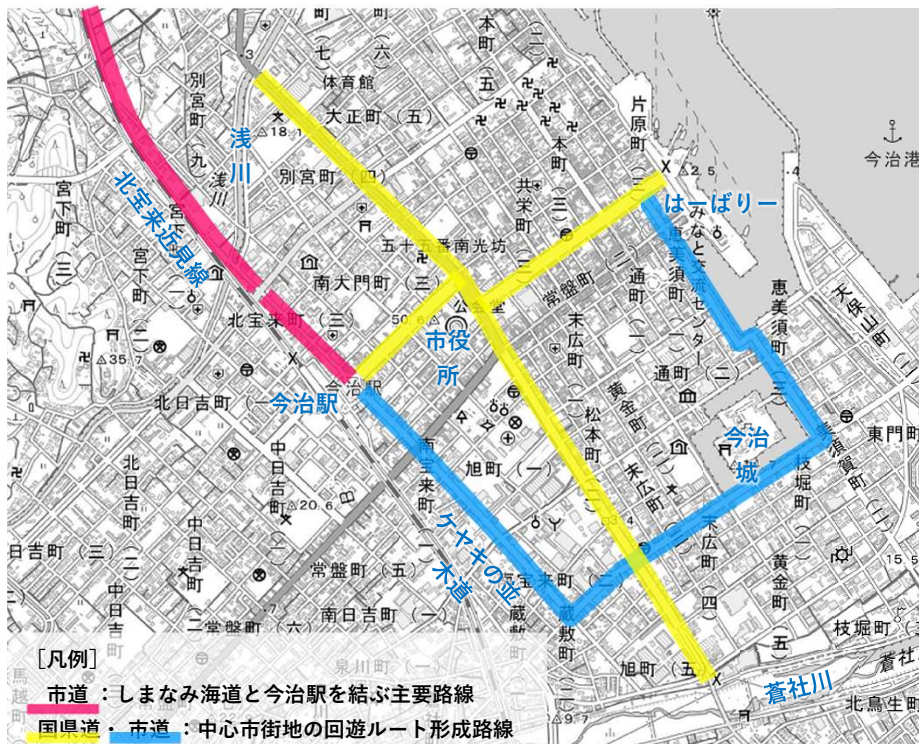


中心市街地全体での都市基盤整備（１）

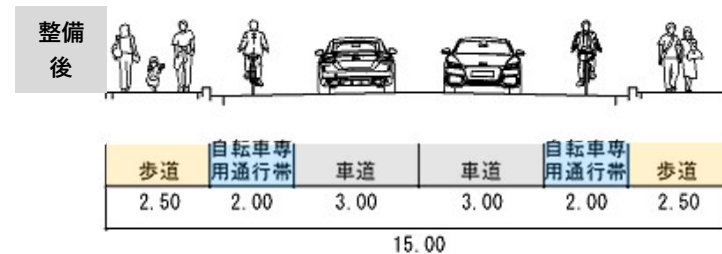
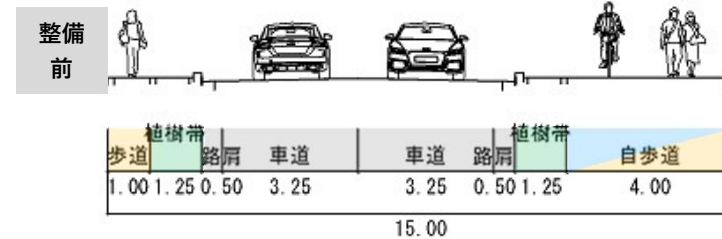
31

自転車通行環境整備

- 自転車ネットワーク計画に基づき、幅員再配分により安全で快適な自転車走行環境を整備する
- 現在しまなみ海道と今治駅を結ぶ主要路線「北宝来近見線」を整備し、Velo-city開催までの全線供用を目指す
- 今後は中心市街地における自転車利用の機運を高め、賑わい創出に繋げるため、自転車回遊ルートの形成に向けた整備を行う



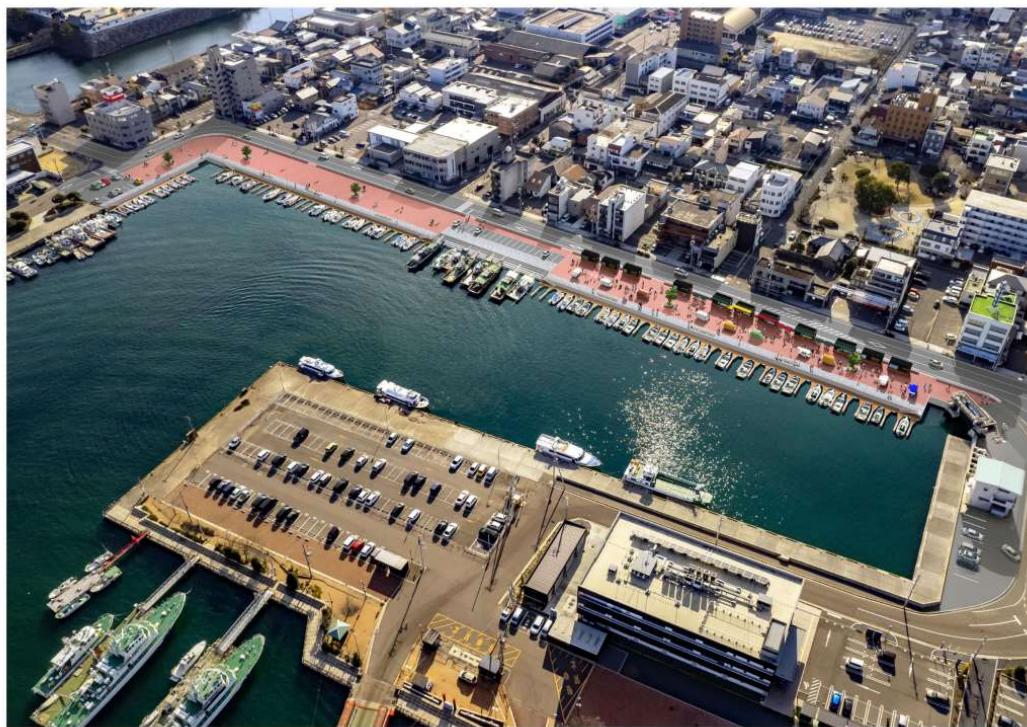
自転車ネットワーク計画路線 中心市街地整備位置図



北宝来近見線 標準断面図、現地写真
 （上段：整備前、下段：整備後）

今治港港湾改修

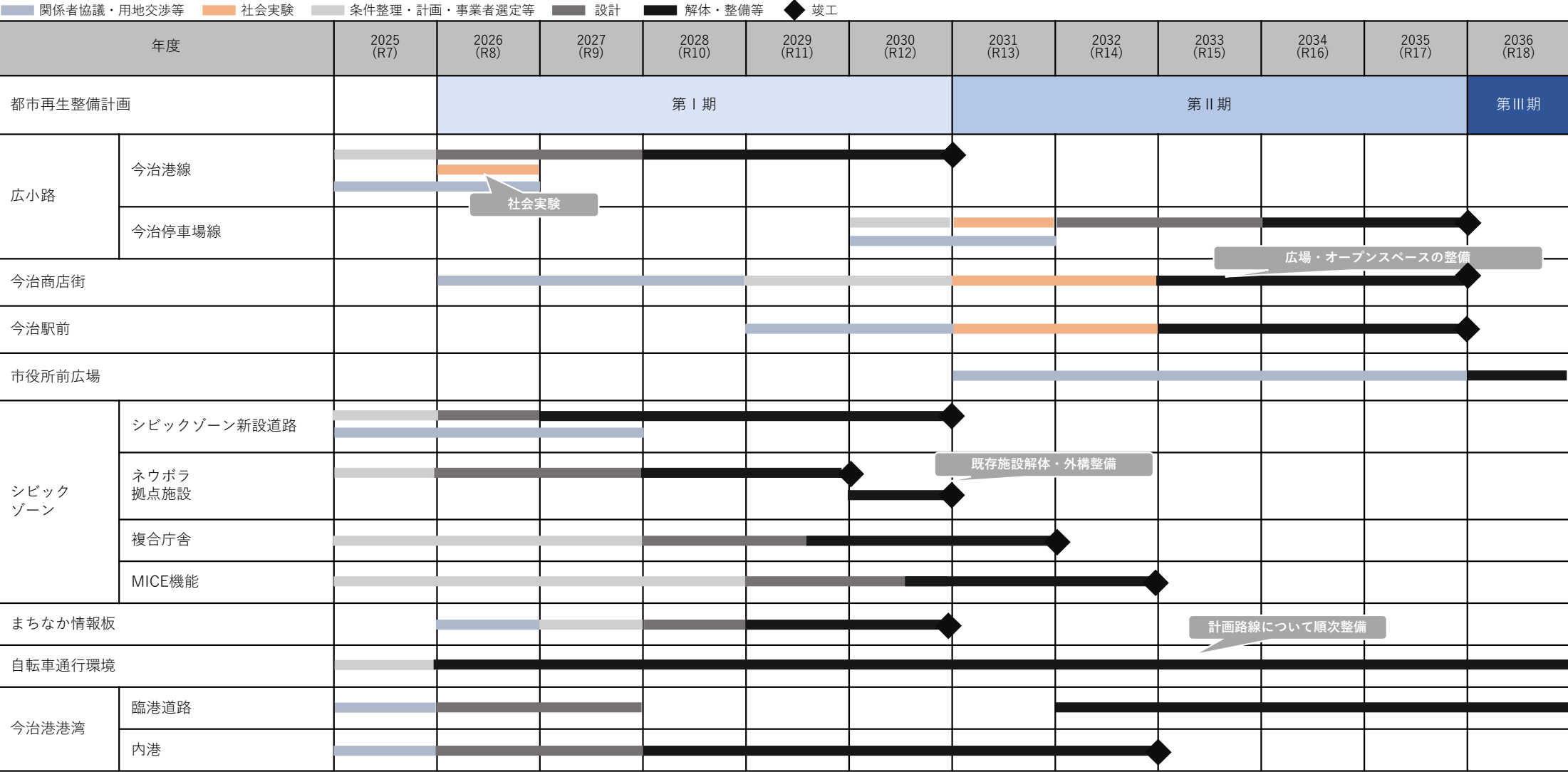
- ・ 内港エリアの改築について、グランドデザインでの「ミズベ・ウォーク」の構想を踏まえ、防災減災や老朽化対策だけでなく、水辺を生かした歩行者空間・滞留空間としての整備を検討
- ・ 港での「せとうちみなとマルシェ」の賑わいを日常や中心市街地に波及させることを目指す



内港物揚場の将来イメージ（案）

想定される公共事業スケジュール（案）

33



※今後の検討により変更の可能性がある

5. 都市再生整備計画（案）について

都市再生整備計画（案）の概要

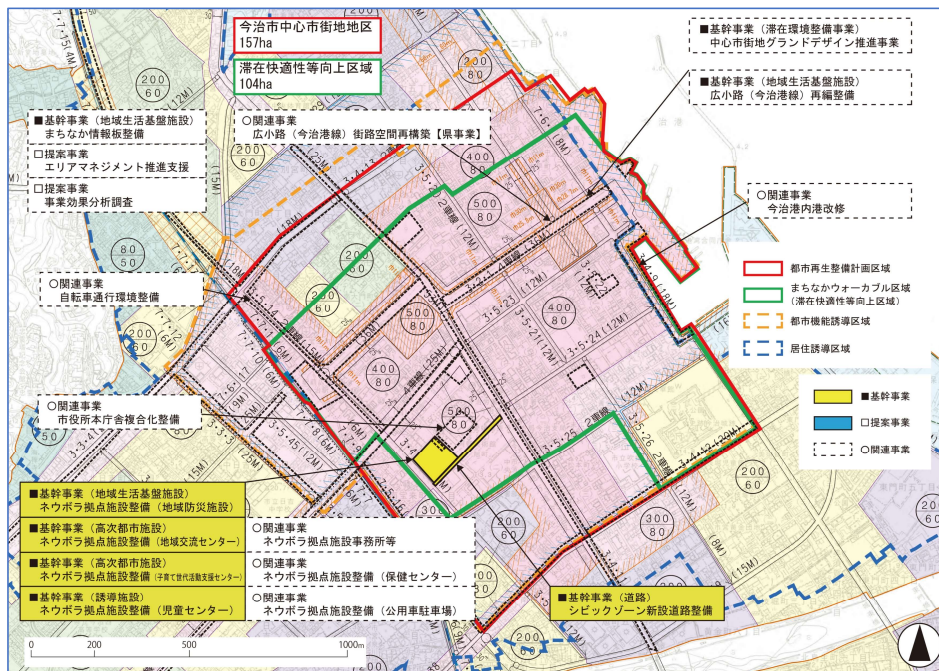
35

①計画の位置づけ

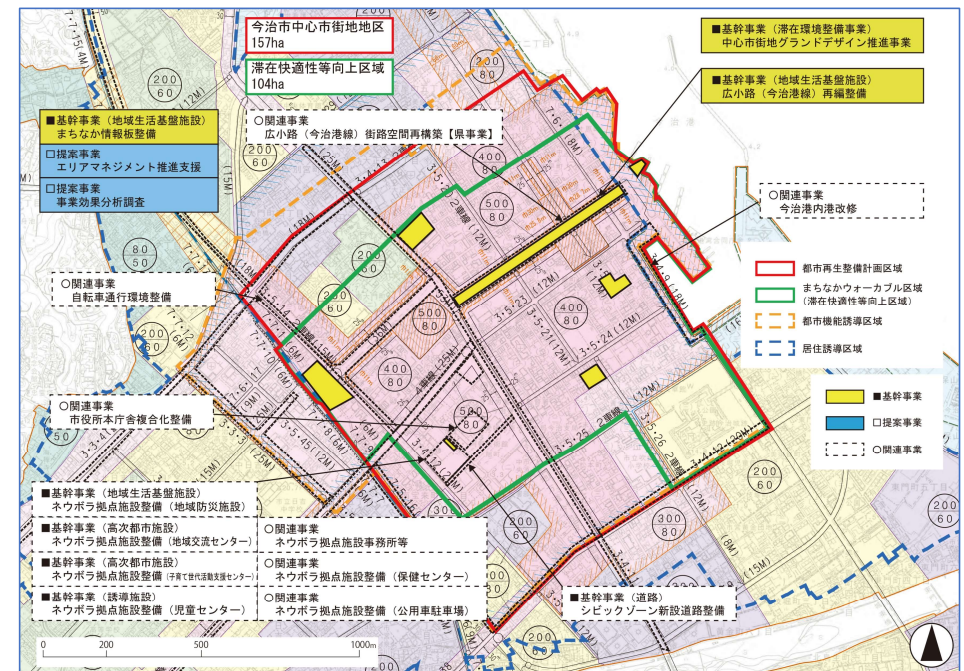
- ・本計画は、**国の財政支援を活用し**、中心市街地再生を具体化するための**実行計画**

②対象地区・計画期間

【対象地区】今治市中心市街地地区（約157ha） 【計画期間】令和8年度～令和12年度（最長5か年）



都市構造再編集中支援事業による整備方針概要図（案）



まちなかウォーカブル推進事業による整備方針概要図（案）

- 事業例**
- ・ネウボラ拠点施設整備
 - ・シビックゾーン新設道路

- 事業例**
- ・広小路（今治港線）再編整備
 - ・まちなか情報板の整備 他

③計画の目標

【大目標】港の賑わいをまちなかに波及させる、今治らしい中心市街地の魅力創生

目標1：誰もが集い、多世代の交流が生まれるまちなかの交流拠点の形成

目標2：市民や来訪者の交流・活動を促し、まちの魅力向上に寄与する賑わい空間の創出

目標3：回遊性の向上による歩きたくなるまちなかの形成

④計画の考え方

点的整備ではなく、「公共施設整備 × 公共空間整備 × 民間誘導」を組み合わせた面的再生

⑤計画の評価の必要性

【事前評価】計画の妥当性、効率性、実現可能性を確認（国の事前審査了）

【事後評価】目標の達成状況を確認 ※事後評価を重視

○目標を定量化する指標

・歩行者通行量（人／日）	1,666人／日（R5年度）⇒	2,000人／日（R12年度）
・子育ての環境や支援への満足度（％）	25％（R5年度）⇒	30％（R12年度）
・公示地価の平均変動率（％）	△1.4％（R6年度）⇒	0％以上（R12年度）
・中心市街地の満足度（％）	23％（R6年度）⇒	30％（R12年度）

⇒事後評価結果を踏まえ、第2期計画を作成することも可能

6. 「中心市街地まちづくり市民会議2025」の振り返り

開催概要（１）

38

日時	令和7年12月20日(土) 13:00~16:30
場所	今治市みなと交流センター「はーばりー」1階みなとホール
参加者	- WS参加者 40 名（高校生13名、教員1名、大学生6名、大学院生1名、プレイヤー9名、不動産業者3名、事業者2名、会社員3名、医療・福祉関係者1名、無職1名） - 観覧者 約50 名 - 計 約90 名
目的	「今治市中心市街地グランドデザイン」の計画内容や取組を発信し、まちづくりの機運を醸成 - まちなかの地域資源や未来についてのシナリオなどを題材に、参加者自身が相互に意見交換
プログラム	- 趣旨説明 - あいさつ - プログラムの説明 - 各団体によるまちづくりに関する発表 - 今治市中心市街地グランドデザインの説明 - まちづくりワークショップ（グループワーク） - 各グループでの成果発表、ディスカッション

中心市街地まちづくり市民会議 2025

「まちなか」未来とじぶん

12.20^土
13:00-16:30

今治市みなと交流センター「はーばりー」1階 みなとホール

- 01 各団体によるまちづくりに関する発表
- 02 今治市中心市街地グランドデザインの説明
- 03 まちづくりワークショップ（希望者のみ）
- 04 成果発表ディスカッション

「まちなか」未来とじぶん

グランドデザインで描いた「中心市街地(まちなか)の未来を、もっと面白く、もっと魅力的にするために。まちづくりに関わる、関わりたいみなさんと一緒に、「まちなか」・未来・そしてじぶんのこれからの未来を語り合います。

※当日のグランドデザインの説明、取組の発表、議論の様子を観覧できます。ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

参加方法

申込期間 11月17日(月)8:30～12月19日(金)17:15まで
事前申込制 定員：80名(先着)

※ワークショップについては人数に限りがあり、ご希望に添えない場合があります。

- ・右記申込フォームからお申し込みください。
- ・申込フォームから申込みできない場合のみ「お問合せ」へお電話でお申し込みください。
- ・事前にお申込みいただいた方を優先いたします。
- ・定員に達した時点で申込みを締め切ります。

申込フォーム

会場案内

今治市みなと交流センター「はーばりー」1階 みなとホール
住所：今治市片原町1丁目1-27

お問合せ

今治市 総合政策部 企画政策局 魅力都市創生課
TEL: 0898-36-1508

開催概要（2）

39



■各団体によるまちづくりに関する発表



■グランドデザインの説明



■まちづくりワークショップ、グループワーク



■各グループでの成果発表、ディスカッション



各団体によるまちづくりに関する発表や「今治市中心市街地グランドデザイン」も踏まえ
まちなか・未来・じぶんのこれからを語り合うグループワーク・ディスカッションを実施

■まちなかの活用に向けたアイデア（１）

項目	意見要旨
歩行者・ 自転車 が 回遊し やすいまち	・ ランニング、ウォーキング、サイクリングのコースなど運動・健康につながる環境整備を進めてほしい ・ 港と広小路がつながれば、朝・夜の散歩などで集まったり、コミュニケーションの機会が増える ・ 高校生や学生は徒歩や自転車で行動するので、歩き回れるまちにしたい ・ サイクリングコースの青線をもっと引いてもいいのではないか ・ 歩いたり自転車で走っていれば、まちの景色に動きが出て活性化している印象につながる ・ 車よりも自転車や歩きの方が、まちを感じてもらえる ・ 歩いてもらうために駐車場をつくらないというマルシェの考え方には共感 ・ 駐車場やサイクルターミナルから、自転車でまちを巡ってもらえたら素敵 ・ 道がぼこぼこしていたり狭いので、もっと歩きや自転車で移動しやすいまちにしたい
回遊したく なる魅力ある まち	・ マルシェで駐車場から港まで歩く間に、商店街で物を買ったり食べ歩きしたり活動が生まれてほしい ・ 商店街に足を運べる場所が増えてほしい ・ 目的地となるエリア同士が離れているので、道中に魅力を感じる店をつくり、人の流れをつくっていききたい ・ 飲み屋やカフェがあるとよい ・ まちの色々なところで小さい絵を展示し、それを巡るようなイベント「歩く美術館・博物館」をやってみたい

■まちなかの活用に向けたアイデア（２）

項目	意見要旨
酒場・横丁 （語り合える、 チャレンジで きる場所）	・ 酒場、横丁をつくることで、色々な人が情報をシェアする文化をつくっていきたい ・ 科学や音楽、イノベーションなど実験できる、チャレンジできる場をつくり、面白い人たちが集まる街にしたい ・ 色々なジャンルを語り合えるような、皆が集まる場所をつくりたい ・ まちなかに出店したくなる場所を整備して、チャレンジできる環境を整えていけるとよい
海や港の活用	・ 港での結婚式や船上での音楽イベントなど、今治の海の魅力を県外の人に気づいてもらえるように活性化したい ・ 若者が今治の船舶産業や重工業に興味を持ってもらうきっかけづくりをしたい ・ 飛行機や駅だけでなく、船で来る人を受け入れられる港にしたい ・ 海沿いが走って回れる場所になるとよい ・ 新鮮な魚を食べられるお店、仕事ができるスペースがあるとよい ・ 釣りやサーフィンなどのマリンスポーツを通じて、海で面白い体験をつくりたい ・ サーフィンのボートには今治の造船技術を活かすことができるのではないかな ・ 鴨池海岸ではマリンスポーツが盛んなので、中心市街地とつながっていくと面白い
デート スポット	・ デートスポットがない ・ 港は景色もいいし、人が集まる場所にできるのではないかな ・ 昔は高校生も港にデートに来ていた ・ 大きいスクリーンでのナイトシアターなど、海辺は遊べる場所に変えていけるのではないかな

主な意見（３）

42

■まちなかの活用に向けたアイデア（３）

項目	意見要旨
高校生が住み続けられる環境の整備	・ 高校生が大学で外に出て行かざるを得ないので、今治のまちなかに大学をつくりたい ・ 就職などで上京しても帰ってきたいと思えるまちにしたい ・ 3年では足りないので今治に残りたいと高校生から声が上がっている ・ 高校卒業後に地域おこし協力隊として商店街で企業の準備ができるなど、長く残ってもらう制度を整えたい ・ 高校生が4~5年かけてチャレンジできる環境をつくる ・ 自分の居場所や周りの人と交流できる場として、商店街に居場所があるとよい
まちの玄関口となる駅周辺の整備	・ 駅の案内が少ないので、地元・観光客向けに充実させてほしい ・ 今治の玄関口である駅からは一ぱりーまで歩いて行ってもらえるようにしたい ・ 現状は駅とは一ぱりーの間の動線ができていないと感じる ・ 駐輪場が少ない ・ 駅周辺には塾が多いので、隙間時間を使って徒歩で店に寄れたり、遊べる・息抜きできる場所があるとよい
家以外の居場所	・ まちなかが目的がなければ行かない場所になっているのが問題 ・ 買い物だけでなく、人に会いに来る、人と出会えるまちにしたい ・ 訪れた人たちがつながる場所をつくるためのハード・ソフトの仕組みを整えたい ・ 家以外の居場所としてまちがあると、ひとりあたりの持っている場所が増え、新たなつながりが生まれる

主な意見（４）

43

■まちなかの活用に向けたアイデア（４）

項目	意見要旨
夜間も明るいまち	・ 夜を明るく、ライトアップや街灯を増やしてほしい ・ 海の近くで風を感じたり、街灯がキラキラと輝いていたり、魅力的な場所になるとよい
屋内の遊び場	・ 屋内に遊べる場所があるとよい ・ 公園などの屋外で遊べる場所はあるが、今治には屋内で遊べる場所がない
商店街の活用	・ 商店街は学生にとっても拠点になり得る場所 ・ アルバイトできる店、宿泊できるホテルや学生寮など、学生が生活できるようなまちづくりをしたい ・ 商店街の空き家もシャッターが閉まったままだと何も起きないので、シャッターを開けてもらったり、取っ払ってオープンにしたり動きが出てくるようにしたい
交通手段の充実	・ 中心市街地を訪れるための交通を充実させてほしい
まちなかの寺の活用	・ まちなかに寺が沢山あるので、活用したい ・ 寺まで足を運んで紹介する「寺巡りツアー」などがあっても面白い

主な意見（５）

44

■WS・ディスカッションを通じた参加者の思い

項目	意見要旨
感想	• 皆さんの熱い思いを聞けてすごく感動した • 大人として、一緒に協力できることがあればしていきたい • 高校生や学生とは普段触れ合うことがなかったが、パワーがものすごいと感じた。 • まちづくりは簡単なことではないが、みんなで思いを持ってつくる分、きっとよい思い出につながっていく • 全体を通して頷ける意見が多く、これだけの人たちが中心市街地のことを考えてくれているのが嬉しい • この場に参加していない人たちにも、伝えていくことが大事 • 大人だけでなく、波及力の高い高校生とも一緒に発信していきたい • 外から今治に来た立場としてみたときに、色々な人の温もりや優しさ、つながりが感じられる点が今治の好きなところなので、その魅力を活かした取組をしてみたい • 自分にできることはまだ少ないかもしれないが、まちの活性化につながる取組をしてみたい

7. 意見交換②

8. 今後のスケジュール
